ワイド地方版

全日本学生写真コンテスト

やったぞ！4人も入賞

相馬・向陽中 石原淳史君

福島商業高 高橋義成君

福島高 高橋良之君

優秀賞

安積高 野崎 哲君

全日本写真連盟など主催の第五回全日本学生写真コンテストに県内から三人の高校生と中学生一人が入賞した。高校の部優秀賞に輝いた安積高一年の野崎哲君（一七）、入選の福島高一年の高橋良之君（一七）、福島商二年の高橋義成君（一七）、そして相馬市立向陽中三年の石原淳史君（一五）の四人。特に野崎君は高校の部に集まった三千点以上の応募作品の中から、わずか十点だけに贈られる優秀賞の受賞に大喜びしている。

〝餓鬼大将〟を激写 野崎君

高橋良君は2年連続

同コンテストには全国から約六千四百点の応募があった。高校の部で最高の優秀賞に輝いた野崎君の応募作品は「餓鬼大将」。自宅近くの開成公民館前で遊んでいた子供たちを写した白黒四つ切り。三人の小学生が並んでいて真ん中の子供がふんぞり返っている構図で、出来栄えについては「ちょっぴり自信があった」という。

野崎君がカメラを最初に手にしたのは小学五年のとき。中学二年になると現像までマスター。カメラの仕組み、構造、原理の理解―と写すだけのカメラマンから一人前のカメラマンへと成長した。

これまでカメラ雑誌などのコンテストで何度か入賞したことはあるが、今回のようなビッグタイトルは初めて。父親の教員学さん（四〇）や母親の康子さん（四〇）も上達した腕前に驚いている。

入選は全国で百点が選ばれた。福島市の高橋良之君は中学三年のときにも同コンテストで入選しており三年連続の受賞。「放課後」という作品はクラスメートが放課後の教室で雑談している姿を写したモノクロで四つ切りサイズ。

福商からは4年連続

同じく入選の福島商の高橋義成君の作品は「溶けたS君」というユーモラスな題名。モノクロで大きさは半切。昨年の夏、いわき市四倉へ海水浴に行ったとき撮影したもので、砂浜に体を埋めた友人に頭だけ出してもらい、シャツやバミューダを並べていかにも体が溶けてしまったように見せている。

同校では第二回のコンテスト以来、毎年入選者を出しており、武田十四男校長や写真部顧問の松浦正風教諭らと四年連続の快挙に大喜び。

高校でもがんばりたいと石原君

中学生でただ一人入選した石原君は向陽中の写真部長。写真は相馬野馬追いの甲冑競馬を写したものだが「入選の知らせを受けたときはヤッターという気持ちでした」と素直に喜びを語る。

写真のおもしろさは「自分の見たものをそのまま自由に表現できること」といい「入選をはずみにし、高校へ進んでも写真を撮り続けていきたい」と意をふくませている。

琴や茶道、日本人以上

喜多方の米人女性

エミリーちゃんを抱き、記者時代のスクラップを見るメリーさん

親日家で知られるアメリカのライシャワー・ハーバード大学名誉教授の教え子のアメリカ人女性が喜多方市にいる。同大学院卒の司

に興味を持ったきっかけ。大学はインデアナ州立大学に入り、日本語と朝鮮語を勉強した。同大卒後、国際キリスト教大学に留学、一年間、英語の教え方を学んだあと長崎県・鎮西学院短大で英会話などを教え、さらに日本について体系立った勉強がしたいためハーバード大学の大学院に入学。ここで一年間、ライシャワー教授の教えを受けた。

このあと二年間、東京のモービル石油に勤めたあと上智大学で、年半、徳川時代以降の現代日本の社会学、日本、中国、韓国の三国の比較社会学などを講義した。

ロサンゼルスタイムスの局で日本文化の取材記者をしていたのは、上智大学講師をしていた五十二年から五十四年まで。ため欧州後は「評論家」並みに、琴は生田流の師範も

民話で明るいマチづくり

郡山の

都山市喜久田町の如月き）民謡大会は二月十三時半から喜久田公民館で

同地区は市内でも民謡ところ。明るいマチづくりの普及にと去る四十九年さされることで十回目。大会

稲原民謡会、堀之内民謡館民謡クラブなど七つの団が出演、これまでの練習発表する。

ゲートボール技と審判テス

4日にハワイアンセン県ゲートボール協会は日、ゲートボール実技指導三級審判員テストを、いわ常磐ハワイアンセンターが、現在、受講者を募集し事業人員は五十人。参加